

受給学生からの声



文学部 2年 大野さん

日本学生支援機構（JASSO）から授業料のために毎月貸与型奨学金を受けています。塾講師のアルバイトを週2回していますが、3週間のイギリス語学研修に参加できたのは、今年から、エバーグリーン奨学金（給付型奨学金）を受給しているおかげです。とても良い経験となり、更に頑張りたいという意欲が湧きました。



法学部 2年 末(らい)さん

青山学院からフェニックス奨学金（給付型奨学金）と日本学生支援機構（毎月貸与型奨学金）を受けて学費に充てています。今年社会人になった姉と二人暮らしです。他に妹2人も大学進学を希望しているので両親の負担にならないようにしたいと思っています。奨学金が無ければESSの活動も出来なかったし、アルバイトももっとしなければいけなかったので、やりたいことに集中できて大変感謝しています。

「青山サクラソウ奨学金」寄付者 桜井信正 様からのメッセージ

一人の有望な在校生が、経済的な理由で学問を途中で断念せざる事があってはならないのです。学問や部活に情熱を傾けていただきたいのです。一人の先輩として後輩に対する厚い思いから寄付をしています。奨学金の冠名のサクラソウは、花言葉で“希望に満ちる”です。希望に満ちた学生生活を送っていただきたい、という願いもございます。

ご寄付のお申込は、学院連携本部までお問い合わせいただくか、
右のQRコードよりホームページをご覧ください。

問合せ先／青山学院 学院連携本部

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL.0120-900-420 E-mail:ag-info@aoyamagakuin.jp



青山学院・新経営宣言

Bethe *Difference*

世界は一人ひとりの力で変えられる

表紙：相模原キャンパス ウェスレー・チャペル

皆さまのご寄付が、若者の未来を変えます。

学校法人 青山学院

万代基金

給付型奨学金

（フィナンシャル・エイド）

学びたいにもかかわらず、経済的理由で断念している志のある若者を支えたい

貸与型でなく給付型奨学金を より多くの学生に届けたい

青学生が受けている日本学生支援機構（JASSO）をはじめとする貸与型奨学金の現状は、2017年度においては4,653人の学生の総額が35億2,531万9,600円にものぼっています。貸与型奨学金は、昨今の社会問題にもなっているように、学生は大きな負債を背負って社会に出ていくことになるのです。

2017年度の奨学金の現状 （対象／大学・大学院、女子短期大学）

1年間で青学生が背負う
借入れ総額は **約35億2,532万円**

学 校	人数	支給金額
大学・大学院	4,045人	3,080,191,600円
女子短期大学	608人	445,128,000円
合 計	4,653人	3,525,319,600円

（2017年度貸与型奨学金実績）

1年間に青学生に給付された
総額は **約8,056万円**

学 校	人数	支給金額
大学・大学院	353人	72,207,000円
女子短期大学	43人	8,350,000円
合 計	396人	80,557,000円

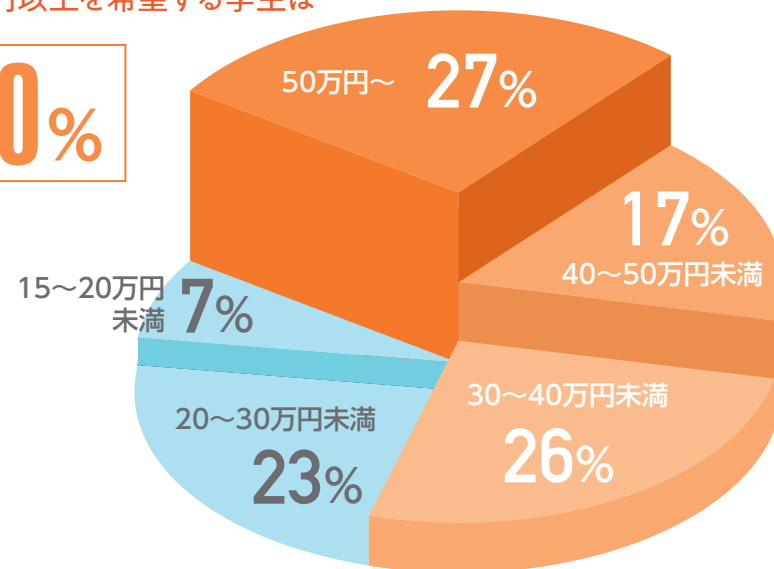
（2017年度ご寄付による給付型奨学金実績）

受給学生アンケートの現状 （対象／大学・大学院、女子短期大学）

質問：「奨学金の額は年間どのくらいが適切だと思いますか」※回答数139人

年間で30万円以上を希望する学生は…

70%



2017年度
学生1人当たり平均支給額 **約20万3,400円**

『万代基金』 の創設

「万代基金」の名の元となった万代順四郎氏は、苦学生として青山学院中等科・高等科を卒業し、その生涯を貫いたキリスト教の信仰による高潔な愛と奉仕の志を、学ぶことが困難な若者と母校の発展のために捧げ尽くし、トミ夫人とともに節約して貯めた個人資産のほとんどを学院に寄付されました。

そのような万代氏の遺志を次世代へ引き継ぐために青山学院は、必要とするすべての若者のための給付型奨学金と教育研究資金の充実を目指して、2017年11月に1,000億円を目標とする『万代基金』を創設しました。すべての若者が、家庭の経済環境にかかわることなく平等に学ぶためにも、貸与型ではなく給付型の奨学金を充実させることが、私たち教育に携わる者、そして社会全体の使命です。